

平成22年における神奈川県の子殺者の状況

◎これまで子殺統計については、神奈川県、横浜市、川崎市それぞれで分析を進め、それをもとに地域の子殺対策に取り組んできているところである。平成22年度から相模原市が加わり、かながわ子殺対策会議では平成22年についても引き続き、神奈川県警察本部から子殺統計原表に基づく神奈川県警察本部集計データの提供を受け、神奈川県内全体についての集計・分析を行ったので、その結果を報告する。なお、子殺統計原表は平成19年より集計が一部変更され、子殺の原因・動機別の項目は複数回答となっている。

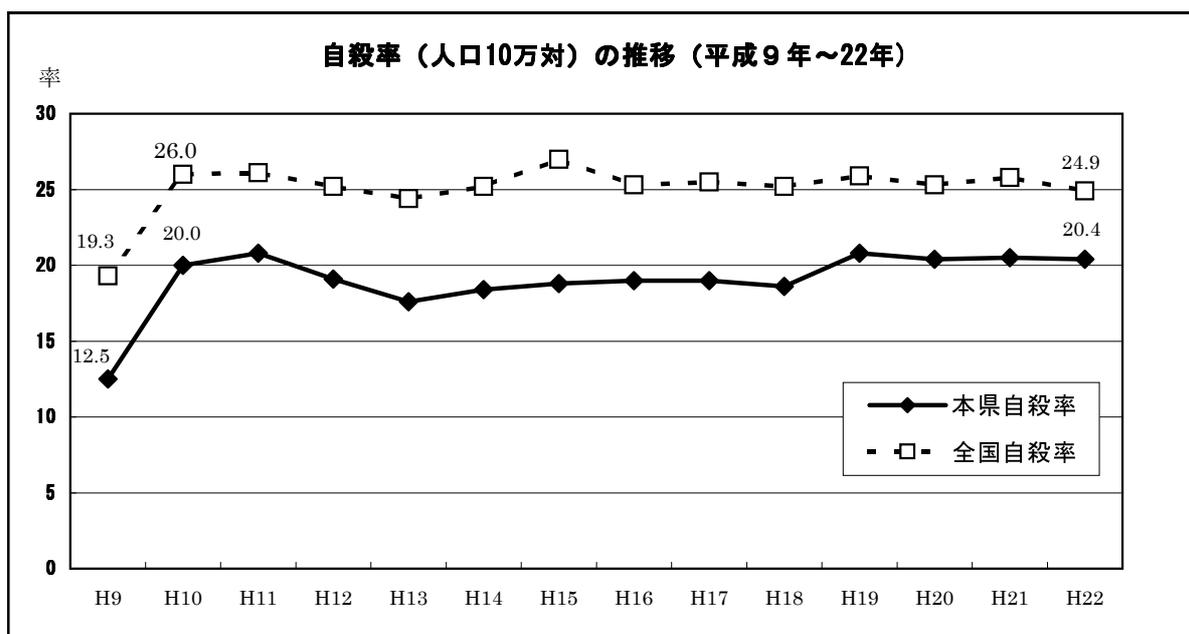
- 1 子殺者数・子殺率の推移
- 2 子殺者の年代別・男女別状況
- 3 子殺者の職業別状況
- 4 子殺の原因・動機
- 5 子殺未遂歴の状況
- 6 参考データ

1 子殺者数・子殺率の推移

神奈川県の子殺者数は、平成10年に著しく増加し、その後も高い水準で推移している。平成18年に若干減少が見られたが、平成19年には再び1800人をこえて推移している。また、平成21年から22年を見ると全国は減少の幅が大きいものの、神奈川県は僅差だが増加している。

	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
本県子殺者数(人)	1,038	1,679	1,758	1,625	1,509	1,586	1,640	1,660	1,669	1,639	1,845	1,818	1,835	1,849
本県子殺死亡率	12.5	20.0	20.8	19.1	17.6	18.4	18.8	19.0	19.0	18.6	20.8	20.4	20.5	20.4
全国子殺者数(人)	24,391	32,863	33,048	31,957	31,042	32,143	34,427	32,325	32,552	32,155	33,093	32,249	32,845	31,690
全国子殺死亡率	19.3	26.0	26.1	25.2	24.4	25.2	27.0	25.3	25.5	25.2	25.9	25.3	25.8	24.9

※全国の子殺者数及び子殺率は平成23年3月発表の警察庁資料より抜粋



2 自殺者の年代別・男女別状況

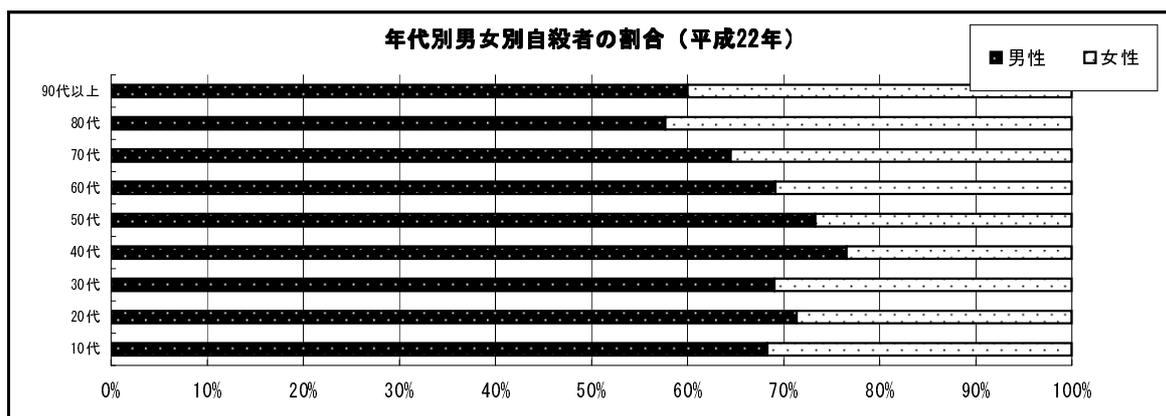
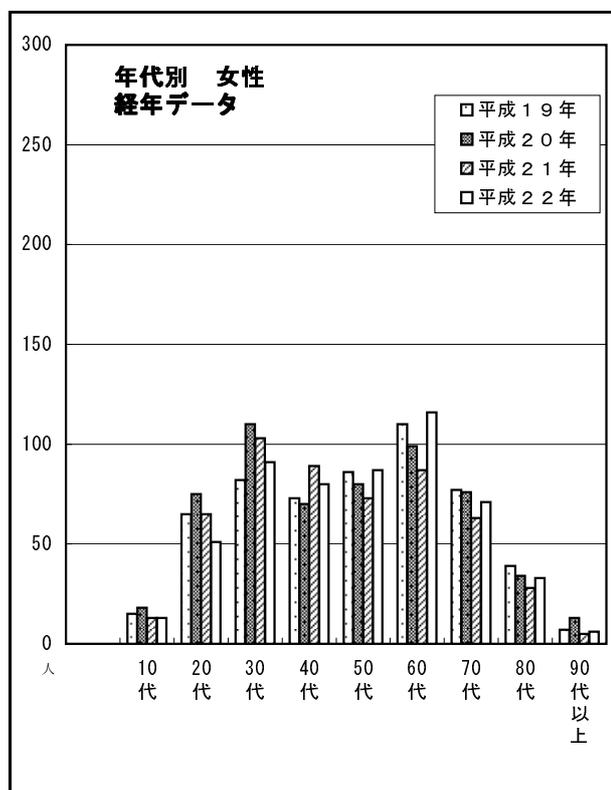
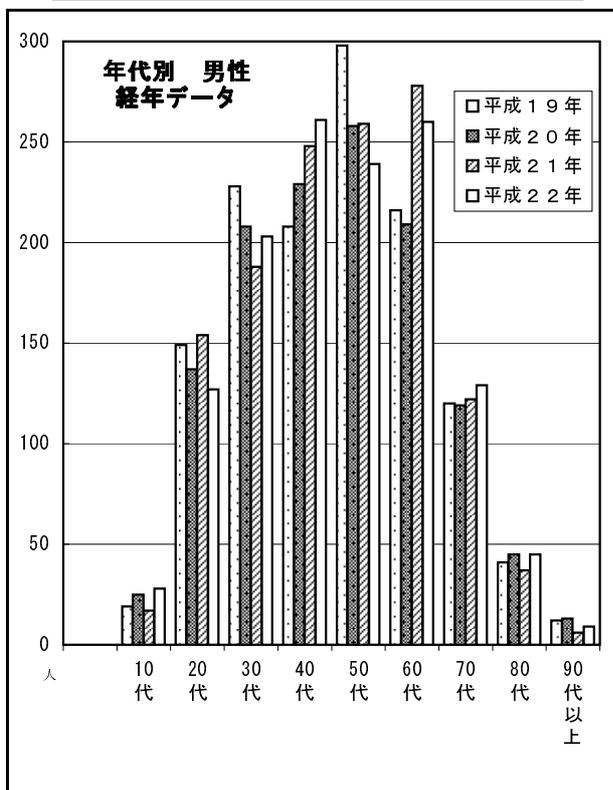
平成19年から4年間の年代別自殺者数は、30歳から69歳の年代で7割近くを占め、ピークは50歳から59歳であったが、平成21年は60歳から69歳に移行し平成22年も続いている。年代別男性経年データでは、平成21年に比べ22年は70歳以上の年代が増加している。女性も同様の傾向にある。

(1) 年代別自殺者数と割合

	平成19年		平成20年		平成21年		平成22年	
	自殺者数	割合	自殺者数	割合	自殺者数	割合	自殺者数	割合
10代	34	1.8%	43	2.4%	30	1.6%	41	2.2%
20代	214	11.6%	212	11.7%	219	11.9%	178	9.6%
30代	310	16.8%	318	17.5%	291	15.9%	294	15.9%
40代	281	15.2%	299	16.4%	337	18.4%	341	18.4%
50代	384	20.8%	338	18.6%	332	18.1%	326	17.6%
60代	328	17.7%	308	16.9%	385	19.9%	376	20.3%
70代	197	10.7%	195	10.7%	185	10.1%	200	10.8%
80代	80	4.3%	79	4.3%	85	3.5%	78	4.2%
90代以上	19	1.0%	26	1.4%	11	0.6%	15	0.8%
総計	1,845	100%	1,818	100%	1,835	100%	1,849	100%

(2) 男女別自殺者数と割合

	平成19年		平成20年		平成21年		平成22年	
	自殺者数	割合	自殺者数	割合	自殺者数	割合	自殺者数	割合
男	1,291	70%	1,243	68.4%	1,309	71.3%	1,301	70.4%
女	554	30%	575	31.6%	526	28.7%	548	29.6%
総計	1,845	100%	1,818	100%	1,835	100%	1,849	100%



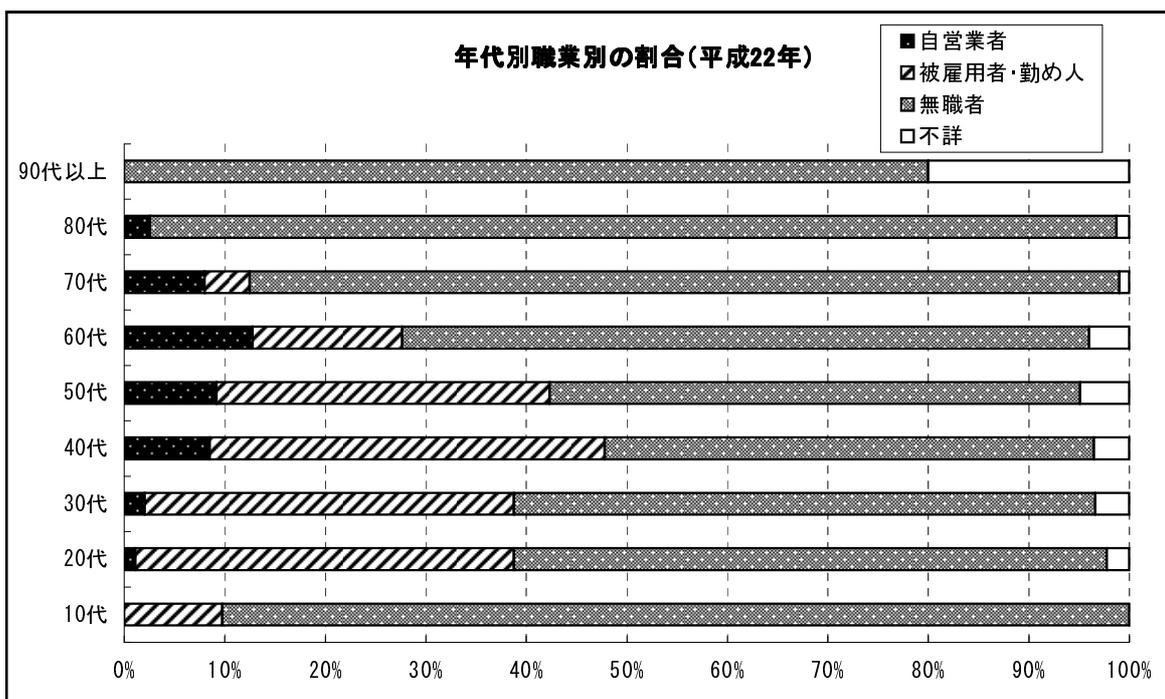
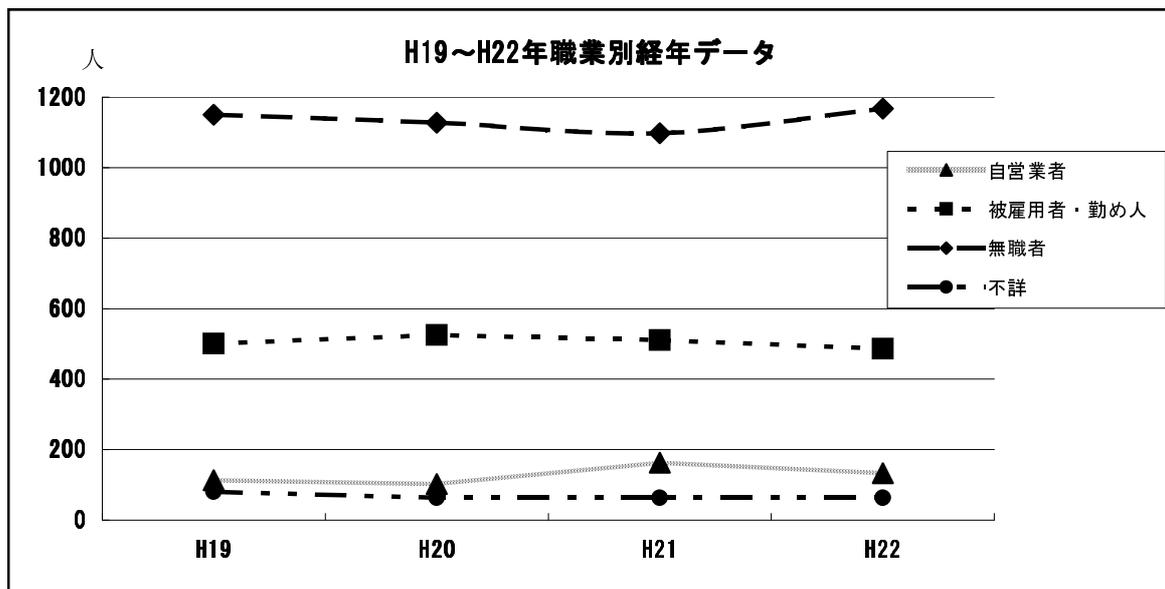
3 自殺者の職業別状況

自殺者の職業別状況を見ると、平成19年～22年までいずれも無職者が多く、全体の6割近くを占めている。

(1) 職業別自殺者数と割合(%)

	H19		H20		H21		H22	
	自殺者数	割合	自殺者数	割合	自殺者数	割合	自殺者数	割合
自営業者	113	6.1	102	5.6	163	8.9	133	7.2
被雇用者・勤め人	501	27.2	525	28.9	511	27.8	486	26.3
無職者	1,150	62.3	1,128	62.0	1,098	59.8	1,167	63.1
不詳	81	4.4	63	3.5	63	3.4	63	3.4
総計	1,845	100.0	1,818	100.0	1,835	100.0	1,849	100.0

平成21年と22年を見ると無職者が増加している。



4 自殺の原因・動機

(1) 原因・動機別自殺者数と割合(%) (実数割)

	H19		H20		H21		H22	
	自殺者数	割合	自殺者数	割合	自殺者数	割合	自殺者数	割合
家庭問題	158	8.6	222	12.2	197	10.7	234	12.7
健康問題	727	39.4	730	40.2	634	34.6	670	35.2
経済生活問題	260	14.1	295	16.2	377	20.4	361	19.5
勤務問題	123	6.7	155	8.5	136	7.4	142	7.7
男女問題	44	2.4	55	3.0	71	3.9	67	3.6
学校問題	17	0.9	31	1.7	15	0.8	10	0.5
その他	49	2.7	72	4.0	60	3.3	62	3.4
不詳	797	43.2	736	40.5	793	43.2	782	42.3
総計	2175	115.3	2296	126.3	2283	124.3	2328	118.9

(注1)原因・動機は3つ以内の複数計上可能であり、実数割の割合(%)については自殺者総数に基づき算出している。

(母数割)

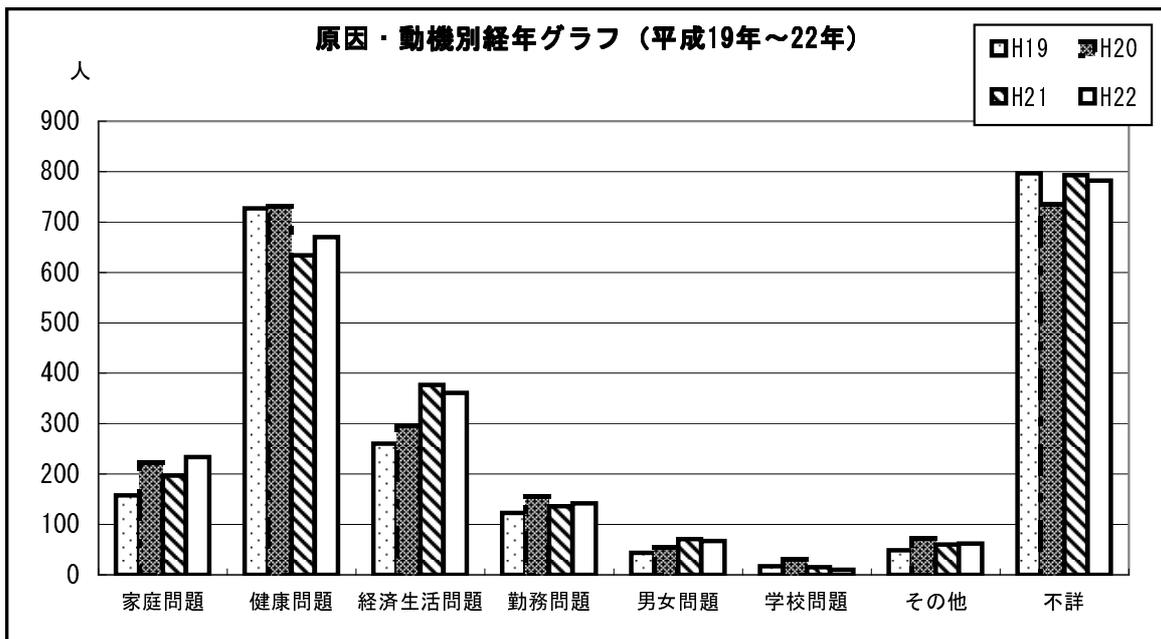
	H19		H20		H21		H22	
	自殺者数	割合	自殺者数	割合	自殺者数	割合	自殺者数	割合
家庭問題	158	7.3	222	9.6	197	8.6	234	10.0
健康問題	727	33.4	730	31.8	634	27.8	670	28.8
経済生活問題	260	11.9	295	12.8	377	16.5	361	15.5
勤務問題	123	5.7	155	6.8	136	6.0	142	6.1
男女問題	44	2.0	55	2.4	71	3.1	67	2.9
学校問題	17	0.8	31	1.4	15	0.7	10	0.4
その他	49	2.3	72	3.1	60	2.6	62	2.7
不詳	797	36.6	736	32.1	793	34.7	782	33.6
総計	2175	100.0	2296	100.0	2283	100.0	2328	100.0

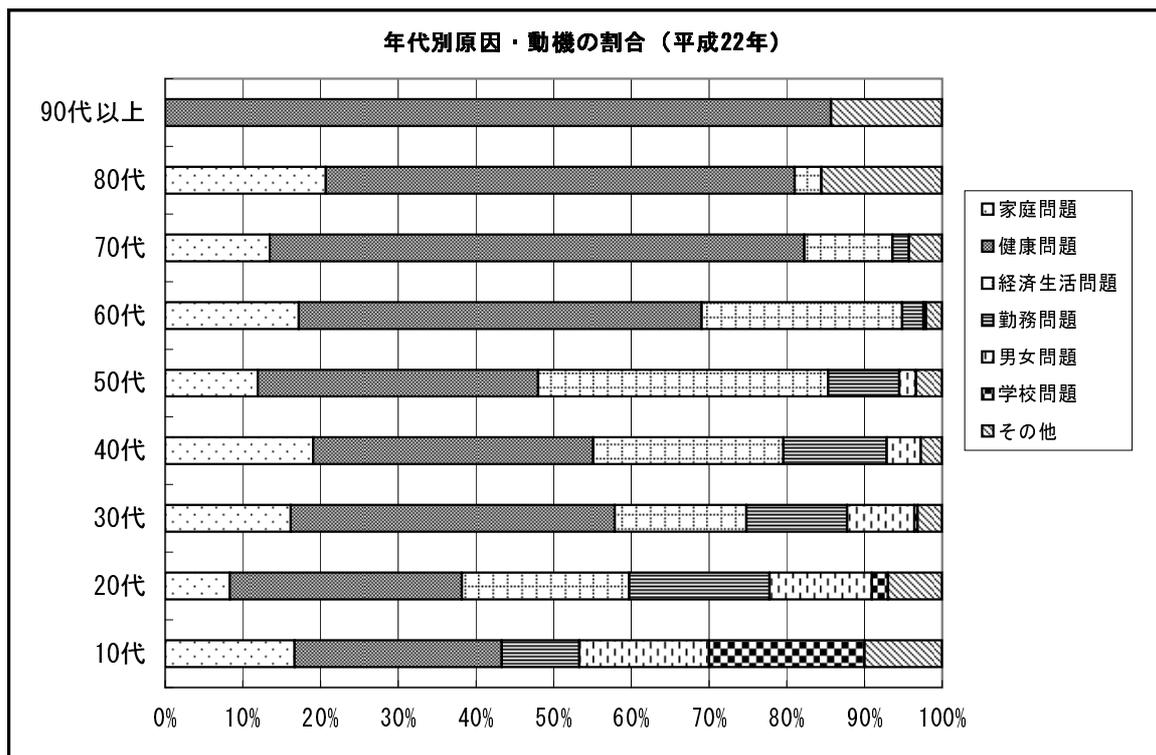
(注2)原因・動機は3つ以内の複数計上可能であり、母数割の割合(%)については計上総数に基づき算出している。

(2)原因・動機別の判断材料

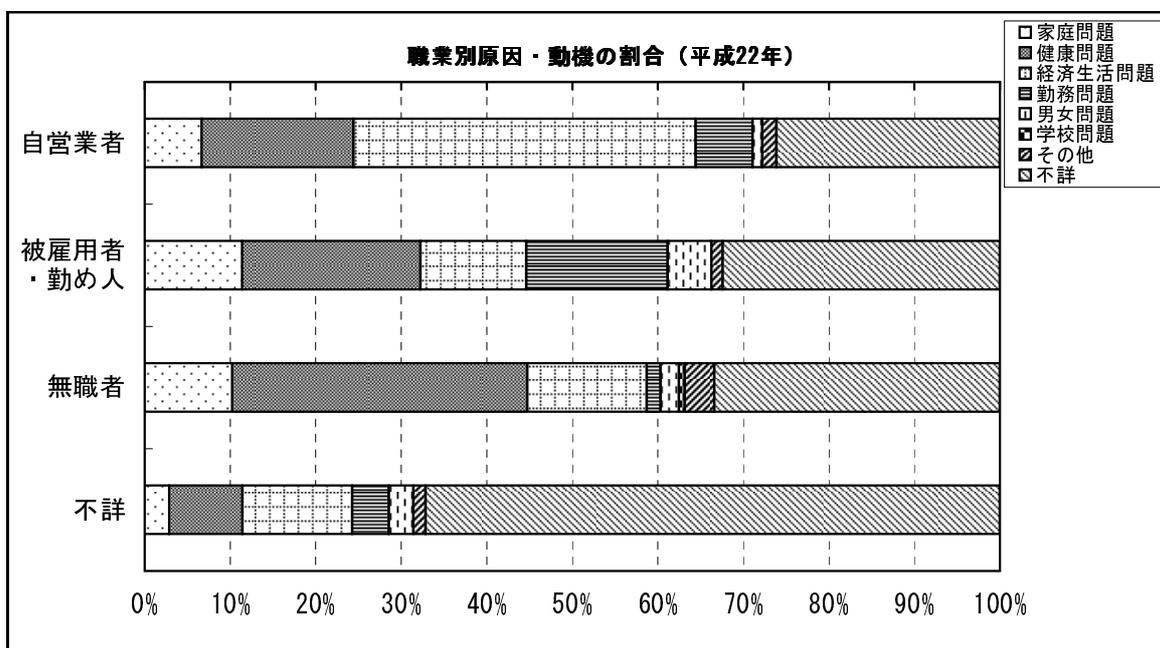
	H19		H20		H21		H22	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
遺書	608	33.0	688	37.8	705	38.4	692	37.4
自殺サイト・メール等書き込み	55	2.9	78	4.3	75	4.1	69	3.7
その他の生前の言動	458	24.8	384	21.1	317	17.3	378	20.4
該当なし	769	41.7	735	40.4	788	42.9	769	41.6

(注3)「原因・動機別の判断材料」は複数計上可能であり、割合(%)については自殺者総数に基づき算出している。





※原因不詳は多数(4割強)を占め他の問題の割合が見えにくくなるため除いている。

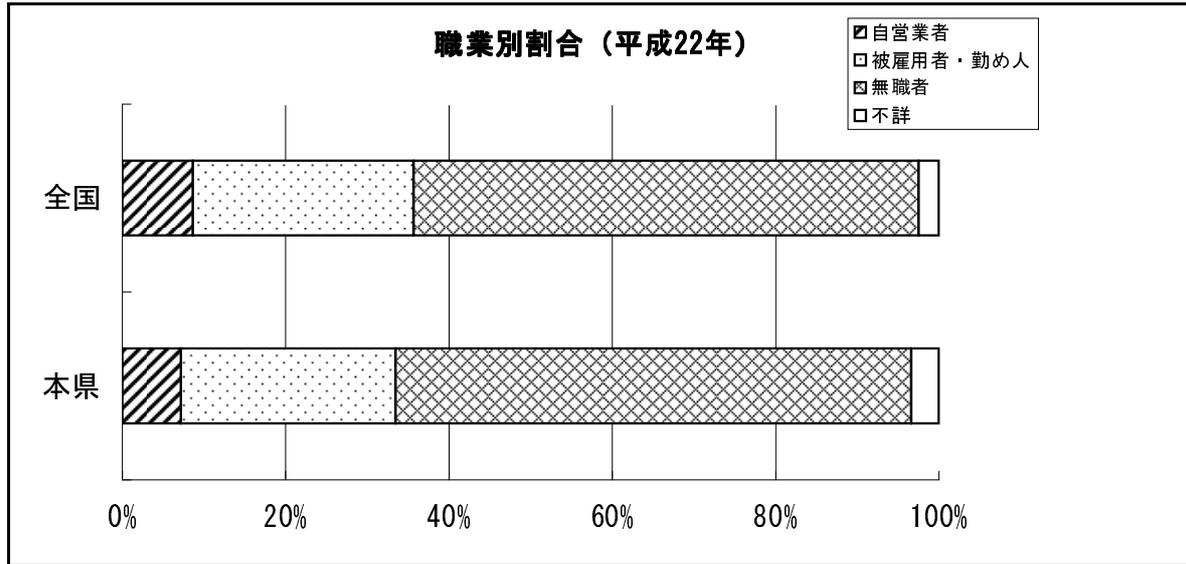


5 自殺未遂歴の状況

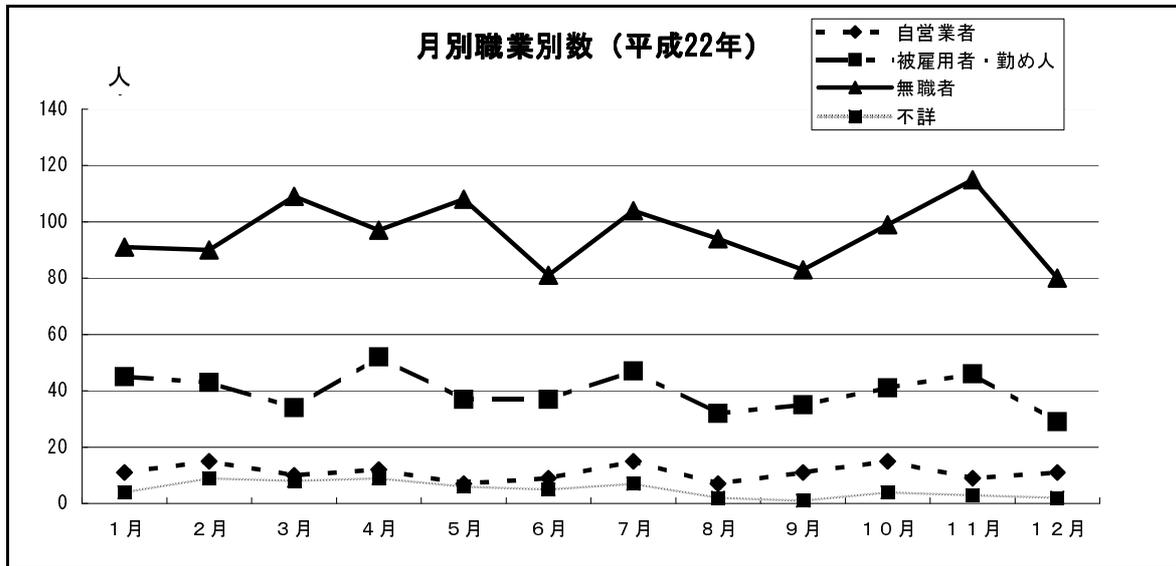
	H19		H20		H21		H22	
	自殺者数	割合	自殺者数	割合	自殺者数	割合	自殺者数	割合
未遂歴あり	313	17.0	354	19.5	324	17.7	368	19.9
未遂歴なし	1,057	57.3	1,030	56.7	1,097	59.8	1,075	58.1
不詳	475	25.7	434	23.9	414	22.5	406	22.0
総計	1,845	100.0	1,818	100.0	1,835	100.0	1,849	100.0

自殺未遂歴ありは、2割弱である。

6 参考データ



職業別割合は、全国とほぼ一致している。



※月不詳28人を除く